

と し よ 図書だより

7月号

岡本小学校 2020年7月7日発行



夏がやって来ました。コロナウイルス感染症の影響で今年はいつもとちがう夏になりそうですね。夏休みも短いし、海も山も今までのようには楽しめなさそう…。そんなときは、本のなかで夏の思い出体験してくださいね。



夏のおすすめ



『はじめてのキャンプ』

林明子 // 作

小さい女の子はちゃん。大きい子たちと同じようにキャンプができるかな。暗い夜は泣かないでいられるかな。



『ともだちは海のおい』

工藤直子 // 作

お茶が好きなイルカとビールが好きなクジラが友達になった。ふたりの友情を詩と短編でユーモアにえがく。



『夏の庭 The Friends』

湯本香樹 // 作

死の瞬間を見てみたい、少年たちはある老人を「観察」することにした。それに激怒した老人だが、やがて、少年たちがやって来るのを楽しみに待つようになる。



『夜空と星の物語』

日本星景写真協会 // 著

世界中の星空の風景と、その星にまつわる物語を美しい写真で紹介。太古の物語に想像をふくらませながらページをめくる「読むプラネタリウム」。



先生おすすめのほん！

先生方がおすすめする本を図書室で展示しています。先生方の紹介カードに合わせて、図書委員がステキなポップを作りました。いろいろな本が紹介されています。ぜひ、見に来てくださいね。



調べて物知り博士に！

～なぜ「七夕」と書いて「たなばた」と読むの？～

7月7日は七夕ですね。行事の由来となった中国の織姫と彦星の伝説（星祭り）は、知っている人も多いでしょう。では、なぜ、「七夕」と書いてナナユウでもシチセキでもなく、タナバタと読むのでしょうか。

これは、日本の伝説が関係しています。夏に川辺につくった棚の上で機織りをして、神様に布を供える「棚機津女」の言い伝えがありました。人々は7月7日の夜に水辺で身をきよめ、神様にけがれをのぞいてもらったのです。タナバタの読みは、この「たなばたつめ」からきていると言われています。

さて、七夕にお願い事をするのはなぜでしょう。七夕は星祭りや棚機津女のほか、いろいろな行事が混じり合って今のかたちになりました。お願い事をする由来は何でしょう。調べてみてくださいね。